

平成 26 年 12 月 26 日

全国銀行の平成 26 年度中間決算の状況(単体ベース)

<要 旨>

1. 経常利益

経常収益は、資金運用収益および役務取引等収益は増加したものの、国債等債券の関係収益の減少により、その他業務収益が減少したことに加え、株式等売却益の減少等により、その他経常収益が減少したことから、8兆640億円（前中間期比1,379億円、1.7%減）となった。

経常費用は、資金調達費用が減少したほか、国債等債券の関係費用の減少により、その他業務費用が減少したことに加え、株式等償却、貸倒引当金繰入額および貸出金償却の減少により、その他経常費用が減少したことから、5兆2,088億円（同3,413億円、6.1%減）となった。

この結果、費用が収益を上回って減少したことから、**経常利益**は、2兆8,552億円（同2,034億円、7.7%増）と2年連続して増益となった。

2. 中間純利益

中間純利益は、1兆9,336億円（同1,405億円、7.8%増）と2年連続して増益となった。

3. 業務純益

業務純益は、2兆4,166億円（同636億円、2.7%増）と2年ぶりに増益となった。

(注) 平成 26 年度中間決算における**全国銀行**とは、都市銀行 5 行(みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、埼玉りそな)、地方銀行 64 行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）41 行、信託銀行 4 行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託、野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の 116 行である。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 本件に関する照会先：金融調査部 干場、昆 Tel 03-5252-3778・ 本件は全銀協ホームページ (http://www.zenginkyo.or.jp/) に掲載しております。・ 平成26年度中間決算の業態別動向、銀行別の財務諸表などを掲載した「全国銀行中間財務諸表分析」を平成27年2月中旬に刊行いたします。 |
|---|